

自治体の課題、現状

- ・少子化による学校数・生徒数の減少により、部活動数、部員数とも減少し、学校規模の違いから学校間での体験格差も生じている。
- ・地域移行の取組の現状として、県内25市町村のうち連絡協議会設置済み（R6中設置含む）が23、推進計画策定済み（R6中策定含む）が18である。
- ・県内の文化部活動の中でも、コンクールがある吹奏楽部や合唱部では休日に恒常的な活動を行っているが、大会参加校数の減少や、学校単独での活動が困難な地域における合同チームでの大会参加も見られる。

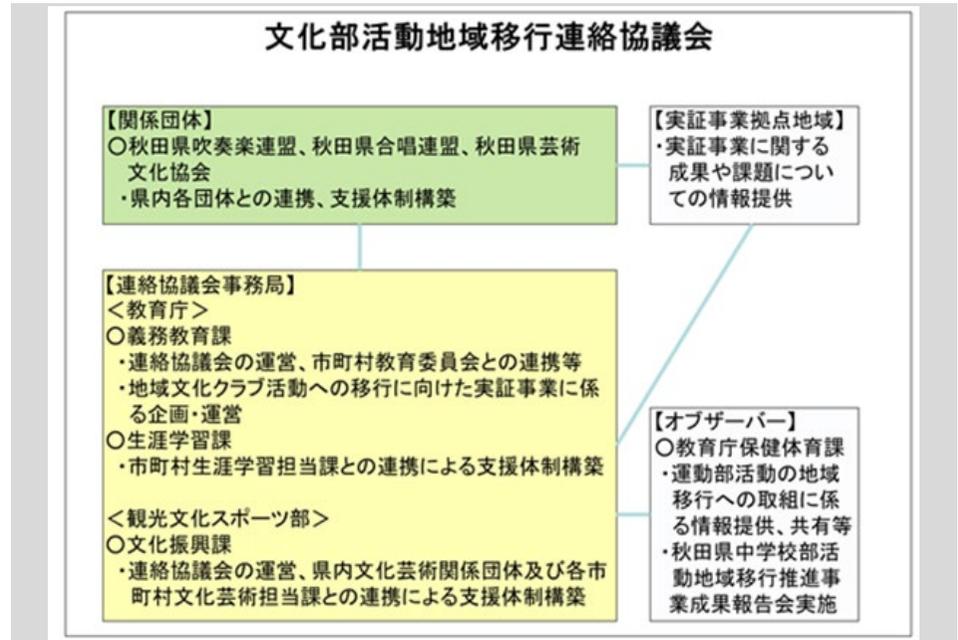
令和6年度 年間の事業スケジュール

令和6年4月	文化部活動地域移行連絡協議会の委員確認等※以下「連絡協議会」と記載
令和6年5月	R6第1回連絡協議会開催準備
令和6年6月	第1回連絡会開催（事務局打合せ）
令和6年7月	R6第1回連絡協議会開催
令和6年8月	各種リスト作成に向けた打合せ
令和6年9月	各種リストについて関係団体へ作成依頼
令和6年10月	次年度事業に関する意向調査 大館市実証事業視察
令和6年11月	R6第2回連絡協議会開催準備 第2回連絡会開催
令和6年12月	R6第2回連絡協議会開催 各種リストについての検討
令和7年1月	兼職兼業の考え方の周知について意見交換
令和7年2月	秋田県中学校部活動地域移行推進事業成果報告会（運動部と合同開催）
令和7年3月	各種リストの県HP掲載 兼職兼業の考え方の周知

地域移行関連の取組、成果

- ・「中学校文化部活動（吹奏楽・合唱）指導者等一覧」及び「中学生の受入れが可能な文化芸術活動実施団体等一覧」、「市町村相談窓口一覧」を作成した。事務局各課から関係団体や市町村関係部局への流れを作ったことが、事務局内での役割分担をより明確にした。
- ・指導者の確保に関わって、地域クラブ活動等で指導を希望する教員に対し、兼職兼業の手続き等を示した「公立学校の教師等が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業の考え方について」をまとめた。

運営体制図



自治体の課題、現状

- ・急激に進む生徒数の減少は、文化部に所属する生徒数の減少のみならず、学校の統廃合や教員数の減少等へとつながり、学校を活動単位とする従来の部活動の形態のままでは、生徒のニーズに応じた充実した部活動を継続させることが極めて困難な状況となっている。
- ・市内にはプロの演奏家や専門講師、教員以外の吹奏楽指導者がいないため、生徒が専門的な指導を受ける機会は少なく、地域移行に向けて指導者を確保することにも課題を抱えてきた。

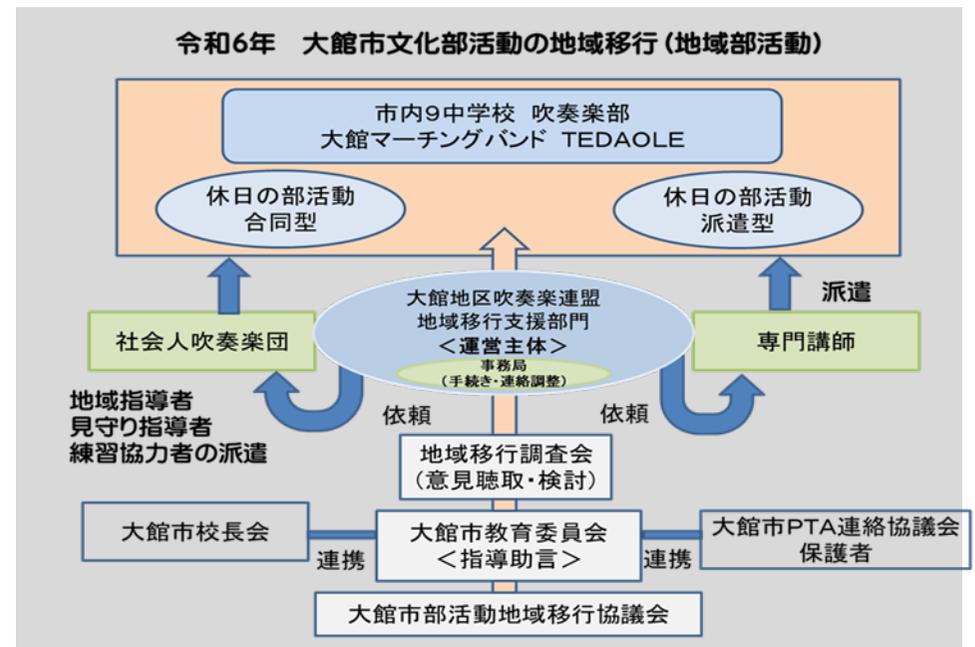
地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	9校	全生徒数	1,449人
域内の部活動数	18部	実施した地域クラブ数	10クラブ
全体の指導者数	39人	全体の運営スタッフ数	7人
主な運営団体	地区吹奏楽連盟 (地域移行支援部門)		
主な種目	吹奏楽		
平均的な活動回数	1回/月	年間平均参加生徒実数	3年: 2人/クラブ 2年: 5人/クラブ 1年: 5人/クラブ
参加会費	1200円/年	主な活動場所	市内中学校

地域移行関連の取組、成果

- ・社会人吹奏楽団の協力を得て、専門講師の指導補助や講習会の運営に当たる「見守り指導者」の経験者が4年間で20人を超え、地域の指導者や部活動指導員の人材確保につながっている。また、専門講師の指導補助をすることが指導法の研修を兼ねることから、指導者としての資質向上にもつながっている。指導に自信がなくても、小規模校に出向き、生徒と一緒にパート練習をする「練習協力者」は、気軽に事業に関われることから、新たな協力者の発掘や若手の指導者育成にもつながっている。
- ・生徒が他校の生徒と合同で、または地域の指導者等と共に活動することによって、少人数では味わえない吹奏楽の楽しさを感じることができた。

運営体制図



自治体の課題、現状

- ・市内に10ある中学校の生徒数の差により、部活動の選択肢の幅に格差が生じている。最大規模の中学校では文化庁活動が7種類であるのに対して、市内3中学校では吹奏楽部一択である。また、部員数でも、例えば吹奏楽部では最多48人から最小5人と差が大きく、同一種目であっても活動内容に格差が生じている。
- ・地域移行を進める上での特に難しい課題として、吹奏楽部の「学校経営との関係性」「複数指導者を置いた場合の音楽性共有」「指導者謝礼や楽器購入・メンテナンス代金」といったものが挙げられる。

今年度実施した地域文化クラブ活動の概要

中学校数	3校	参加生徒数	38人
部活動数	3部	実施した地域クラブ数	1クラブ
指導者数	1人	運営スタッフ数	50人
運営団体	大仙市消防団音楽隊		
種目	吹奏楽		
活動回数	3回	学年別生徒数	3年：12人 2年：16人 1年：10人
参加会費	なし	主な活動場所	公民館

地域移行関連の取組、成果

- ・コーディネーター配置による、ニーズと課題把握  
→最新のニーズや課題を協議会で検討することができた。
- ・コーディネーター配置による、指導者確保及び受け皿団体の開拓  
→指導者候補と受け入れ可能団体をそれぞれ複数確保することができた。
- ・吹奏楽での地域文化クラブ活動を実施  
→参加各方面から充実感を伴った振り返りを得ることができた。
- ・地域文化クラブ設立のためのマニュアルを作成・配付  
→新規クラブ設立・中学生受け入れを希望する団体に配付することができた。

市全体の部活動地域移行のための運営体制図

